



ごあいさつ

年度のはじめにあたり、豊岡市教育研修センターからご挨拶申し上げます。

本年度から研修センターでお世話になります内海忠裕と申します。先生方の研修が深まり、子どもたちの学校園生活が充実するよう、微力ながら精一杯務めさせていただきます。1年間、どうぞよろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響で、新学期を迎えて間もなく臨時休業となる異例のスタートとなりました。進級の喜び、入学入園の喜び、そして出会いの喜びをほんの少しだけ味わうことができた子どもたち。学校生活の楽しみは、少し先送りとなりました。

今年度から始まった第4次とよおか教育プランの基本理念は「ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもの育成～非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～」です。その根底に流れているのは「子どもの事実に学び、子どもに寄り添う教育」です。昨年度の全国学力学習状況調査でも、「教師が子どもに寄り添うこと」「教師が子どもの声を聴くこと」を、多くの子どもたちが感じているということが明確になりました。「先生や友達に褒めてもらえる。認めてもらえる。一緒に喜んでくれる。」市内の各学校園では、そんな安心感の中で学び、伸びていく子どもたちの姿が見られていました。

先が見通せず不安で困難なスタートとなり、子どもたちのことが気がかりでなりません。このことを克服する手掛かりは2つ。1つめは、私たちが連携教育・一貫教育を通して培ってきた「子どもに寄り添う教育」です。様々な子どもたちや実践から学んできた「寄り添い方」こそが、困難な時代を生きる子どもたちの心と学びを支えるのだと信じています。2つめは、連携教育・一貫教育で強めてきた「つながり」です。校種・職種をこえた私たちの「つながり」も子どもたちには大きな安心となります。日常を取り戻すのに時間がかかるかもしれませんが、いつも以上に手間もかかることでしょう。決して一人で抱え込むことなく、悩みも喜びも分かち合いましょう。そして、一人一人の『子どもの声』を聴き、今私たちにできること、子どもたちに何が必要かを、みんなで一緒に考えていきましょう。

研修センターも、日常の学校を取り戻すための取組、授業充実のための取組に一生懸命関わってまいります。例年とは少し異なるスケジュールになるかもしれません。先生方のご理解とお力添えをよろしくお願い申し上げます。

三輪 直人 指導主事

気が付けばもう4年目。ますます時の流れが速くなっているように感じます。今年も年次研修や教員免許状、PTAに関することなどを担当します。少しでも先生方のお役に立てるように頑張りたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

柳原 守 指導主事

本年度からお世話になります。「演劇ワークショップ」による非認知能力向上事業や学校園支援事業、学校教育経営研修、特別支援教育研修、主幹教諭研修の研修を主に担当します。どうぞよろしく申し上げます。